



Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes dates from 01/14 to 03/29 and events like '第10回幹事会', '新年会', '第11回幹事会', etc.

新春セミナー報告

2月25日(水)エルプラザにて、インテリア文化研究所の本田榮二氏を招いて「09年ハイムテキスタイル展&ドモテックス展トレンド報告セミナー」が行われました。お金と時間の問題で海外視察に行けない私にとって、今年度のインテリアの流行と傾向をリサーチ出来る上に、インテリアに精通されている本田先生のコメントまで聴けるだなんて涙が出る程一石二鳥！という有難いセミナーでしたので、とても楽しみにしていました。当日は38名の参加があり、皆さん熱心に聴き入っていらっしゃいました。



ハイムテキスタイル展とは、今年で39回目を迎える家庭用及び商業用テキスタイルの国際見本市で、世界から3千社のインテリア企業が出展し、約10万人が来場する世界最大のインテリアトレードフェア。

2009年のキャッチフレーズは「Expect the unexpected!(思いがけない驚きを発見する)」というもので、6つのテーマを掲げ各ブースごとにディスプレイが施されていました。現物を見ないことには説明が難しいので、6つのテーマの説明については割愛させていただきますが、大きな特徴としては、近年継続して流行してきた白&黒とアクセントカラーとしてのパープルに加え、エコを背景としたグリーンがより注目されているそうです。不景気の時に見られるというカラーミックスの傾向も強まっているようで、「エコ」と「不景気」・・・インテリアにも時代がちゃんと反映されるのだなと改めて実感しました。そしてデコラティブな傾向が一層拡大している様子。また、技術革新を背景に異素材ミックスが増加しています。例えば、カーテンに見られるレースにスワロフスキーが付いた「織物+クリスタル」やビニルクロスに見られる「ビニル素材+無機質素材」などがそうです。豊かな素材感としての人工皮革や羽毛も増加しているようです。各ブースのディスプレイもアーティストックで非常に面白く「物語」を感じさせるものばかりでした。日本人初のトレンドテーブルとして参加した南村弾氏が担当したフォーチュンテラーのブースは、「東京カオス」というイメージで色彩感豊かなエスニック調を主体とし、まるでごちゃまぜになった宝箱のような演出で注目を得ていたようです。

ドモテックス展は床材をメインにした世界最大のトレードフェアです。こちらは不景気を基としてのファッション化の傾向で、ペルシャ絨毯に代表される手織絨毯が敬遠され、アート風のラグに人気が集まっていたようです。無地のラグでは毛足の長いシャギータイプが人気。またヨーロッパではフローリングが大ブームで、カーペットが主のホテルでもフローリングを使用したインテリアが増加しているようです。こちらも「エコ」を意識した自然素材をという流れなのだろうというお話でした。

あつと言う間の2時間半でしたが、とても充実した時間でした。会場の様子や素材の写真をスライドでたくさんご紹介頂いたのがイメージが掴みやすく、先生のわかり易い解説もあり、会場へ向けていないながらもその雰囲気を味わえたことが非常に嬉しかったです。だからこそ、出来ることなれば実際の会場へ行きその空気感や感動を味わいたいと強く感じてまいりました。頑張ってお金を貯めよう・・・(苦)。本田先生、楽しい時間を有難うございました。

増永

住宅リフォームフェア 報告 3月28日 29日

フェアは当協会呼びかけのもと、道内ICの3団体(HICA・SICC・ICA)共同企画「窓からインテリアを楽しむコーナー」の展示を行い、無事終了しました。北海道で活躍するインテリアコーディネーター6名によるウインドウファッション提案。当協会からは、西風さんと大谷さんが手を挙げていただき、参加して下さいました。ICA 墨谷さんは当会会員です。

ご協力いただいた賛助会員の皆様、本当にありがとうございました。HICA 会長 石原 住まいのセミナー講師にも協力し、「リノベーションでインテリアを楽しむコツ」をテーマに

担当しました。幅広い年代の方々が参加してじっくりと耳を傾けていました。



左から HICA:大谷さん HICA:西風さん HICA:墨谷さん ICA:加藤さん SICC:村上さん SICC:児玉さん

北海道インテリアコーディネーター協会 新年会 報告

今年も1月20日(火)に新年会が札幌のチサンホテルで行われました。道外から駆け付けて来てくれた賛助会員さんも含めて総勢29名が集まりました。いつも見る顔、久しぶりに見る顔、初めて見る顔・・・新年会は活発な情報交換が行われ、人と人とのつながりの大切さを改めて実感する事が出来ました。今回は初参加の株式会社カンディハウス 道央支店の平川 希(ノゾミ)さんが感想を寄せてくれました。

今回初めて参加させて頂きました。緊張しておりましたが和やかな雰囲気の中で皆様と交流することができ、楽しい時間を過ごさせて頂きました。各メーカーさんのPRでは今後の展開や新製品について、クイズではメーカーも知らないような(?) 様々な情報を得ることができて、業界をまだまだ知らない私にとって大変勉強になりました。「景気が落ち込んでいるこの時期でも、お金と時間を割いて縁を大切にしよう」と参加された皆様には必ず明るい未来があるでしょう」と会は締めくくられました。こんな時期だからこそ繋がりを大切に頑張りましょう。これからも宜しくお願い致します。



トータルインテリアキャンペーン 2009 in 北海道 (TIC)



3月25日(水)ロイトン札幌で開催のTICに参加しました。当会は賛助会員さんのご協力でご協力の新製品やサンプル、使用時のポイント、提案ボードなどの「情報スタジオ」を3階ホワイエに展示。

セミナー「伝えたい北の暮らし～リフォーム実践

編～」ではHICA暮らしから考える北のデザイン研究会・増永委員長が会での活動を仕事に反映してきた、毎日を心豊かに暮らすためにインテリアが出来ることをリフォームの実例を交えて紹介。また旭川市でIC業務の他、講師、ショップと幅広く活躍する大谷会員が「気軽に楽しむ～インテリア・メイク～」をテーマに、あなたらしさを生かすインテリアとインテリアセラピーのすすめを皆さんに伝えました。



TICでは小学生絵画コンテストこんな部屋いいな！の特別企画も開催。全作品と最高賞二点の実物再現展示です。表彰式総評は今年もHICA 清水事業部長が担当しました

また、表彰お手伝い増永会員は「受賞した子供たちは皆キラキラと誇らしげで、その姿を見つめる親御さんは更に満面の笑顔で、微笑ましく嬉しかったです。この企画は子供たちの将来の夢のきっかけや周りがインテリアに関わる職種や存在を知るきっかけになる、『育てる』ことと『ICの宣伝』を一挙に出来る実はナイスな企画だと思います。『インテリア』をアピールできる良いチャンスなのでもっと華やかで楽しい表彰式に出来ないものかな」と感想を寄せました。この日は和紙デザイナー堀木エリ子さん、各IC団体セミナー、IC合格者ウェルカムパーティーなども開催されました。

